

災害時透析医療研修会の実施について

○目的

都内透析医療機関の医療従事者及び区市町村職員等を対象に、地震等大規模災害発生時の透析医療機関における対応等について研修を実施することにより、災害が実際に発生した際、透析患者が速やかに透析医療を受けられる体制を整えることを目的とする。

○実施内容

都が作成した「災害時における透析医療活動マニュアル(改訂版)」に基づき、透析医療機関における平時からの準備と災害発生時の対応や災害時透析医療ネットワークの体制等、災害時における透析医療の在り方について、二次保健医療圏単位で研修会を実施する(東京都透析医医会に委託実施)。

○対象者

都内透析医療機関の医師・看護師・臨床工学技士、区市町村及び保健所職員、地区医師会 等

○期間

令和3年7月1日から令和4年3月31日まで

○実績

二次保健医療圏	実施日時	参加人数	内容
区中央部	令和4年2月15日 18時30分～19時50分	57人	ZOOMにて、医師、看護師、臨床工学技士、各区行政担当者、保健所担当者、医師会関係者、医療事務、企業担当者など計57名が集まり、災害時における透析医療活動マニュアルの改訂(ビデオ講演)と現在の透析患者COVID-19の現況についての講演および関連する討論が行われた。
区南部	令和4年2月14日 18時30分～20時	40人	昭和大学からZOOMにて、医師、看護師、臨床工学技士、医療事務、行政担当者など計40名が集まり、災害時における透析医療活動マニュアルの改訂のポイント(ビデオ講演)、東京都透析医会と東京都区部災害時透析医療ネットワークについての講演、区南部における行政の連携と活動報告(品川区、大田区)および関連する討論が行われた。
区西南部	令和4年3月11日 19時～20時45分	89人	ZOOMにて、医師、看護師、臨床工学技士、医療事務、行政担当者など計40名が集まり、災害時における透析医療活動マニュアルの改訂のポイント(ビデオ講演)、東京都透析医会と東京都区部災害時透析医療ネットワークについての紹介・区西南部ブロック会活動の歴史、災害連絡訓練の総括、東京都災害時透析看護の会の活動報告および関連する討論が行われた。

二次保健医療圏	実施日時	参加人数	内容
区西部	令和3年11月4日 18時30分-20時30分	100人	中野サンプラザとWebによるハイブリッド開催で、医師、看護師、臨床工学技士、医療事務、各行政担当者、保健所防災担当者、区医師会災害コーディネーターなど100名が参加し、東京都透析医会と災害ネットワーク、災害時における透析医療活動マニュアルの改訂(ビデオ講演)、東京都区部災害時透析医療ネットワーク 区西部ブロック活動報告(新宿区、中野区、杉並区) および関連する討論が行われた。
区西北部	令和3年12月2日 18時～19時30分	38人	練馬区役所本庁舎7F防災センター危機管理室研修室からのWebによるハイブリッド開催で、医師、看護師、臨床工学技士、医療事務、各行政担当者、保健所防災担当者、区医師会災害コーディネーターなど38名が参加し、災害時における透析医療活動マニュアルの改訂(ビデオ講演)、透析患者におけるCOVID-19の現状と東京都における第6波に向けての取り組み、練馬区の取り組み「災害時における透析医療確保に関する連絡会」についての講演が行われ、関連する討論が行われた。
区東北部	令和4年2月9日 19時～20時30分	53人	ZOOMを用いたオンライン開催で、医師、看護師、臨床工学技士、各区の防災担当職員、各区医師会の災害担当者など53名が参加し、災害時における透析医療活動マニュアルの改訂のポイント(ビデオ講演)、区東北部ブロックでの災害対策の状況について(葛飾区、荒川区、足立区)、行政からの報告(葛飾区、荒川区、足立区)、および関連する討論が行われた。
区東部	令和4年2月9日 19時～20時30分	69人	昭和大学江東豊洲病院9階講堂からのWebによるハイブリッド開催で、医師、看護師、臨床工学技士、医療事務、各行政担当者、保健所防災担当者、区医師会災害コーディネーターなど69名が参加し、東京都透析医会および東京都区部災害時透析医療ネットワークの災害対策について、災害時における透析医療活動マニュアルの改訂のポイント(ビデオ講演)、区東部ブロックでの災害対策の状況について(江東区、墨田区、江戸川区)の講演・報告と関連する討論が行われた。
西多摩	令和4年2月18日 19時～20時30分	25人	公立福生病院1階小会議室からWeb配信で、医師、看護師、臨床工学技士、医療事務、各行政担当者、保健所防災担当者など25名が参加して、災害時における透析医療活動マニュアルの改訂のポイント(ビデオ講演)、各施設自己紹介、災害時の施設能力およびコロナ禍での透析状況報告、各行政担当者、保健所防災担当者の自己紹介、および関連する討論が行われた。
南多摩	令和4年2月7日 19時20分～21時	62人	東京医科大学八王子医療センター講堂を配信会場とするハイブリッドWeb開催で、医師、看護師、臨床工学技士、医療事務、各市役所担当者、各保健所担当者など62名が参加し、三多摩腎疾患治療医会災害時透析医療ネットワークの紹介、災害時における透析医療活動マニュアルの改訂のポイント(ビデオ講演)、各副ブロック長施設から活動状況報告(八王子市、日野市、多摩市、稲城市、町田市)および関連する討論が行われた。

二次保健医療圏	実施日時	参加人数	内容
北多摩西部	令和4年2月24日 19時～20時30分	27人	ZOOMによるオンライン開催で、医師、看護師、臨床工学技士、医療事務、各行政担当者、保健所防災担当者、災害コーディネーターなど27名が参加し、災害時における透析医療活動マニュアルの改訂のポイント（ビデオ講演）、災害時における関係機関の連携体制、参加者自己紹介とご挨拶（各市町担当者、多摩立川保健所担当者、各副ブロック長、東京都福祉保健局疾病対策課長、東京都透析医会会長）および関連する討論が行われた。
北多摩南部	令和4年2月10日 19時～20時30分	40人	慈恵医大第三病院3号館ホールCからのWeb配信で、医師、看護師、臨床工学技士、医療事務、各行政担当者、保健所防災担当者、区医師会災害対策担当理事など40名が参加し、東京都透析医会と三多摩災害時透析医療ネットワークに関する紹介、災害時における透析医療活動マニュアルの改訂のポイント（ビデオ講演）、各市副ブロック長、各市健康推進課担当者、多摩府中保健所地域保健推進課担当者からの挨拶と報告および関連する討論が行われた。
北多摩北部	令和4年2月10日 19時30分～21時00分	30人	多摩北部医療センターからのWeb配信による開催で、医師、看護師、臨床工学技士、各行政担当者、保健所防災担当者、医師会災害コーディネーターなど30名が参加し、三多摩腎疾患治療医会災害対策委員会の紹介、災害時における透析医療活動マニュアル改訂のポイント（ビデオ講演）、各市の状況報告（副ブロック長より、東村山市、小平市、清瀬市、東久留米市、西東京市）、および意見交換が行われた。